

●朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)

朝口首脳会談1周年

2020年4月24日付『朝鮮新報』は、金正恩国務委員長のロシア訪問1周年にあたって北朝鮮外務省ロシア担当副相(次官級)の談話「より豊かになる朝口親善の花園」を掲載した。同談話では、昨年の朝口首脳会談において、「朝鮮半島情勢と国際関係の分野で提起された諸問題について率直かつ忌憚のない意見を交わし」、「ハイレベルでの往来と接触が活発化して二国間関係の問題や国際問題についての見解が幅広く交換される」ようになったとしている。また、今年の朝鮮の解放75周年と朝口共同宣言採択20周年をはじめとする主要な契機に、様々な政治文化行事を共同で進行することが計画されていることが述べられている。

紙上論壇「祖国の山河をより豊かで美しいものに整えていこう」発表

2020年4月27日付『労働新聞』は、国土環境保護省山林総局キム・ソンジュン副局長、チョン・チョルス局長らによる山林復旧についての紙上論壇を掲載した。この中でキム副局長は、北朝鮮の山林復旧が、単に山に木を植えるだけでなく、環境保護的機能と経済的価値を両立させることを目標にしていることに言及している。また、ここ数年、国土管理事業の実績で、市、郡によってかなりの差があることに言及があり、一貫性のある高い実績をあげるように努力が傾けられていることにも言及があった。

初中等教育における新たな教授法の考案

北朝鮮では研究機関や教育現場において教育方法に対する研究が熱心にかつ競争的に進められているようである。2020年4月27日付『朝鮮中央通信』は「普通教育部門学校における新たな教授方法の創造」と題する記事を掲載した。同記事によれば、初等教育および中等教育において、児童・生徒の年齢心理的特性に合わせて教授案を更新し、新たな教授方法を作り上げ、導入していくための事業が進められていることが報じられている。

中央裁判所代表団がラオス、ベトナム訪問

2020年5月13日付『朝鮮新報』によれば、康潤石所長中央裁判所を団長とする中央裁判所代表団がラオスとベトナムを訪問し、両国の最高人民裁判所、最高裁判所所長らと会談を行うとともに、両国と司法部門での交流と協力に関する覚書を交わした。

順川リン肥料工場竣工

2020年5月2日付『朝鮮中央通信』によれば、同月1日、平安南道順川市で順川リン肥料工場の竣工式があり、金正恩国務委員長が参加し、テープカットを行った。同竣工式には朴奉珠朝鮮労働党副委員長と金才竜内閣総理、金徳訓最高人民会議予算委員長、朴泰成最高人民会議議長、朝鮮労働党中央委員会第1副部長である金与正、趙甬元氏、党中央委員会幹部、建設に参加した軍隊と社会の活動家、建設者、平安南道の中の勤労者が参加した。朴奉珠朝鮮労働党副委員長が竣工の辞を述べ、その中で同工場が高濃度燐安肥料を供給する役割を担っていることに触れ、建設部門、科学者たちと人民軍兵士たちの苦勞をねぎらった。その後、金正恩国務委員長は、完成した工場の生産工程に対する解説を聞き、原料加工工程、黄燐生産工程、燐安生産工程、製品の包装工程をはじめとするいくつかの場所を視察した。

咸鏡北道に新たな畜養場が建設される

2020年5月2日付『朝鮮新報』によれば、咸鏡北道清津市にある高抹山大西洋サケ海洋養殖事業所に延べ床面積2,000平方メートル強の畜養場が完成した。畜養場はサケとスケトウダラをはじめとする魚の人工交配と放流、養殖に必要な条件が整っているとのことである。

新たなニット製品の製造に注力ー平壤市船橋メリヤス工場

2020年5月2日付『朝鮮新報』が、平壤市船橋区域にある船橋メリヤス工場で、質の高いニット製品ほか、各種繊維生産の生産に力を入れ、特に質の向上を重視し、同時に小売店における顧客からのフィード

バックの強化など、マーケティングにも力を入れていることを紹介している。

三池淵市建設第3段階工事の推進

2020年5月7日付『朝鮮中央通信』によれば、両江道三池淵市の建設事業が第3段階に入り進められているとのことである。2020年4月末までに数百棟のアパートと公共建設物、各種施設の骨組が9割程度完成し、数万平方メートルの内装が完成したとのことである。

南浦市養苗場が完成

2020年5月7日付『朝鮮中央通信』によれば、敷地面積は20万平方メートル弱の南浦市養苗場が新たに完工した。

金正恩朝鮮労働党委員長が習近平主席中国共産党中央委員会総書記に口頭親書を送る

2020年5月8日付『朝鮮中央通信』によれば、金正恩朝鮮労働党委員長が習近平主席中国共産党中央委員会総書記に伝染病防疫事業における成果を祝した口頭親書を送った。

全国の靴が陳列されているメボンサン商店

2020年5月9日付『朝鮮新報』によれば、平壤市の黎明通りに靴の専門店として有名なメボンサン商店がある。「メボンサン」とは品質トップ製品に贈られる12月15日品質メダルを毎年授賞することで有名な元山靴工場のブランドである。同商店には元山靴工場以外に平壤靴工場、柳園靴工場をはじめとする全国の製靴工場の製品を置いており、男女、学生、子供の靴や運動靴、ズック靴、長靴などのラインナップが揃っているとのことである。また、この商店では、学校等の顧客を訪問しての販売促進活動や製品に対する意見の聴取など、フィードバックを重視しているとのことである。

人民経済部門におけるリサイクルの成果が拡大

2020年5月9日付『朝鮮新報』によれば、同年4月12日の最高人民会議第14期第3回会議で「朝鮮民主主義人民共和国再

資源化法」が採択された後、資源のリサイクルが盛んになっているとのことである。

習近平主席中国共産党中央委員会総書記が金正恩朝鮮労働党委員長に口頭親書を送る

2020年5月9日付中国外交部ホームページおよび2020年5月10日付『朝鮮中央通信』によれば、習近平中国共産党中央委員会総書記が金正恩朝鮮労働党委員長の口頭親書に対して、返信を送った。朝鮮中央通信の報道では、口頭親書の中で習近平総書記は、両党、両国家間の重要な合意を徹底して履行し、戦略的意思疎通を強化し、交流と協力を深めることで新たな時代の中朝関係の絶え間ない前進と発展を促し、地域の発展、繁栄に積極的に寄与する用意があると発言したとされており、中国外交部の発表では、「両党、両国家間の重要な合意を徹底して履行し」の部分が、「両党両国の関連部門が双方の重要な共通認識をしっかりと実行に移し」となっている。

紙上論壇「すべての道には十分な発展の潜在力がある」黄海北道篇発表

2020年5月11日付『労働新聞』は、「すべての道には十分な発展の潜在力がある—突き当たる難関を蹴散らかし正面突破戦の進撃路を自信を持って切り開いていく黄海北道」と題するパク・チャンホ朝鮮労働党黄海北道党委員会委員長らによる紙上論壇を発表した。

北朝鮮各地で田植えが始まる

2020年5月13日付『朝鮮新報』によれば、北朝鮮各地で田植えが始まったとのことである。新型コロナウイルス感染症が世界的に広がる中、農村では都市からの支援人力による新型コロナウイルス感染症の持ち込みを防止するための各種対策を講じているとのことである。

文徳碍子工場で周辺地域の原料やリサイクル資源で生産

2020年5月14日付『労働新聞』は「自らの地方の資源で原料問題を解決し、宝物工場に跳躍」と題する記事を掲載し、平安南道文徳郡にある文徳碍子工場で、原料

と設備、技術問題を自力で解決している様子を紹介している。

電力、金属部門での建設成果

2020年5月15日付『朝鮮新報』は、金策製鉄連合企業所と黄海製鉄連合企業所での大型酸素分離機設置工事や咸鏡北道の端川発電所、漁郎川発電所をはじめとする全国各地の大規模、中小規模の水力発電所建設を進める一方、北倉火力発電連合企業所、平壤火力発電連合企業所、順川火力発電所、東平壤火力発電所、清川江火力発電所などの発電能力を回復させるための技術革新が進んでいることを報じている。

卸売事業所が廃棄物を使った生産に進出

2020年5月18日付『朝鮮新報』は、平壤市卸売商業管理処織物卸売所がメリヤス、織物、被服工場から出る端布や裁ちくずを利用して、各種軽工業製品を生産し、より多くの商品を確保するだけでなく、商業奉仕網に対する供給をより活性化させ、全国で噂になっていることを伝えている。この企業所では、製品を製造する工場の産業廃棄物を再生利用するため、各工場で作らなくなった設備などを買い入れ、修理して自力の生産ができる態勢を作ったとのことである。

朝鮮人民革命軍創建日を国家的名節（国民の祝日）に指定

2020年5月23日付『朝鮮中央通信』によれば、1932年4月25日の朝鮮人民革命軍創建日にちなみ、4月25日を国家的名節とし、国家的休息日（国民の休日）に指定した。これに関連する最高人民会議常任委員会の政令が同月20日に発表された。

朝鮮労働党中央軍事委員会第7期第4回拡大会議開催

2020年5月24日付『朝鮮中央通信』によれば、朝鮮労働党中央軍事委員会第7期第4回拡大会議が開かれ、金正恩朝鮮労働党委員長兼党中央軍事委員会委員長が同会議を指導した。

同拡大会議では、人民軍隊をはじめとする全般的共和国武力の軍事政治活動で起きている一連の偏向に対し、総括、

分析し、それを克服し、決定的改善をもたらすための方途的な問題と武力構成での不合理な機構、編制的な欠点を検討し、直すための問題、自衛的国防力を急速的に発展させて、新たな部隊を組織、編成し、威嚇的な外部勢力に対する軍事的抑制能力をさらに完備するための核心的な問題が討議された。また、国家武力建設と発展の総体的要求に従って、国の核戦争抑制力をさらにいっそう強化し、戦略武力を高度の射撃準備完了状態で運営するための新たな方針が示された。また、朝鮮人民軍砲兵の火力打撃能力を決定的に高める重大な措置が取られた。

組織問題（人事）に関しては、李炳鉄氏を党中央軍事委員会副委員長として選挙し、武力機関の主要職制指揮メンバーを解任および動員し、新しく任命することに関する組織問題が扱われた。

金正恩委員長は、党中央軍事委員会での討議、決定された新たな軍事的対策に関する命令書と重要軍事教育機関の責任と役割を高めるための機構改編案に関する命令書、安全機関の使命と任務に即し、軍事指揮体系の改編に関する命令書、指揮メンバーの軍事称号を上げることに関する命令書をはじめとする7件の命令書に署名した。

紙上論壇「教育がわれらの未来を安心して任せられる教育になるようにしよう」掲載

2020年5月26日付『労働新聞』は、教育委員会キム・スンドウ委員長らによる教育に関する紙上論壇を掲載した。

元山葛麻海岸観光地区で路面電車が開業

2020年5月27日付『朝鮮中央通信』によれば、平壤市、清津市に続き全国3番目となる路面電車が元山葛麻海岸観光地区で開業したとのことである。

中国の香港のための措置を支持—外務省スポークスマンの回答

2020年5月30日付『朝鮮中央通信』によれば、北朝鮮外務省のスポークスマンは、中国の全国人民代表大会で香港における国家安全を守るための立法問題が決

定されたことに関連し、同日朝鮮中央通信の記者の質問に対して、中国の香港のための措置を支持する旨の回答を行った。

朴奉珠副委員長、清川江—平安南道灌漑水路工事現場を視察

2020年5月30日発『朝鮮中央通信』によれば、朴奉珠朝鮮労働党副委員長が清川江—平安南道灌漑水路堰堤工事現場と南川江地下送水管工事現場、延豊1、2号水路トンネル工事現場を現地視察した。

金才竜総理、黄海南道のミル平野水路と田植えの状況を視察

2020年5月31日発『朝鮮中央通信』によれば、金才竜総理が黄海南道のミル平野水路および同谷山郡松林協同農場と新溪郡新興協同農場の田植えの状況を現地視察した。

平安北道に1,800ヘクタールの新たな干拓地を建設へ

2020年6月1日付『朝鮮新報』によれば、平安北道干拓地建設総合企業所が同年5月31日、ウォル島干拓地第2区域第1次干拓堤防工事を完成したその結果、1,800町歩強（約1,800ヘクタール）の新たな農地が得られる展望が高まった。同工事は2019年6月から行われていた。

『労働新聞』、『勤労者』共同論説が掲載

2020年6月1日付『労働新聞』は、朝鮮労働党中央委員会機関誌『勤労者』と共同で「わが党の政治は人民大衆第一主義政治である」という論説を掲載した。

この論説では人民大衆第一主義を、「人民大衆を革命と建設の主人に見て、人民大衆に依拠し、人民のために減私服務するという政治理念である」としており、金正恩國務委員長の政治は「自分のすべてを一つも残さず捧げ人民のために減私服務する政治である。」と定義している。そして、金正恩國務委員長の人民大衆第一主義政治は「国と民族万代の富強繁栄を確かなものに保証していく未来志向的な政治である」としており、さらに「わが共和国の全体国力がさらに強化されて

国際的地位と位相がはつきり浮き彫りにされている。人民大衆第一主義の政治は、国家の経済力と科学技術力、国防力はもちろん、対外的権威も政治理念、政治方式によって左右されること哲理を実践的に証明した。人民大衆第一主義の政治こそ、私たちの国の尽きない力の源泉であり、発展の一番の推進力である」とであると結んでいる。

紙上論壇「党創建75周年」

2020年6月4日付『労働新聞』は紙上論壇「10月の慶祝広場がわれわれを呼んでいる。皆が総突撃へ進め！」平壤市党委員会キム・ボンソク副委員長ほかによる論壇を掲載した。

金与正朝鮮労働党中央委員会第1副部長の談話

2020年6月4日付『労働新聞』は、同年5月31日に韓国の軍事境界線付近で北朝鮮難民脱走（いわゆる「脱北者」）が北朝鮮を非難するビラを配布したことに関連し、「自ら災いを招くな」と題する金与正朝鮮労働党中央委員会第1副部長の談話を掲載した。

この談話は軍事境界線一帯でビラ配布をはじめとする全ての敵対行為が板門店宣言と軍事合意書によって禁止されていることを指摘しながら、韓国側がビラ配布を止めなかったことに対して強烈な言い回しで韓国を非難している。その上で、開城工業地区の完全撤去や南北共同連絡事務所閉鎖、南北軍事合意の破棄などに言及している。

中国の香港のための措置を支持—外相が駐朝中国大使と面会

2020年6月5日発『朝鮮中央通信』によれば、同月4日、李善権外相が北朝鮮駐在中国大使と会い、香港問題と関連して中国共産党と中国政府が取っている措置に対して朝鮮労働党と北朝鮮政府の支持の立場を表明した。

黄海南道に大規模な自然流下式水路が完成

2020年6月5日付『朝鮮新報』は、同年4月に完成した黄海南道灌漑工事につい

ての記事を掲載し、第2段階（2017年1月起工、2020年4月完工）が完成した黄海南道の灌漑工事は、150キロにわたる价川—台城湖用水路よりも土木工事の量が多かったことなどを紹介している。

各道に養苗場を建設

2020年6月5日付『朝鮮新報』は、山林復旧のために必要な木の苗を栽培するために各道に養苗場が建設されていることを報じている。平安南道平城市雲興里に建設された平安南道養苗場、黄海南道の数十ヘクタールにのぼる樹脂パネル温室などを備えた養苗場などを紹介している。なお、平壤市の養苗場は建設が最終段階になっているとのことである。

朝鮮労働党中央委員会第7期第13回政治局会議開催

2020年6月8日付『労働新聞』によれば、同月7日、朝鮮労働党中央委員会第7期第13回政治局会議が開催された。政治局会議には、金正恩朝鮮労働党委員長の他、朝鮮労働党中央委員会政治局委員、候補委員らが参加し、内閣副総理と一部の道党委員長、委員会、省の責任活動家が傍聴で参加した。党中央委員会政治局の委任によって、金正恩委員長が会議を司会した。

第一の議案では化学工業を展望性があるように発展させるうえで、生じる当面のいくつかの問題について討議が行われ、金正恩委員長が化学工業の構造を主体化、現代化の要求に即して改造し、持続的な発展軌道に乗せるための方向と方法を明らかにした。会議では、C1化学工業創設を早めるための意見を聴取し、化学工業発展の新たな活路を開くための問題を真剣に協議した。また、化学工業部門において何よりも肥料生産能力を増やすための活動を最優先的な問題として捉え、この活動を強く推し進めていくことに関して、われわれの原料に基づいたカリウム肥料工業を創設するうえで、提起される科学技術的問題を早急に解決することについて特別に強調した。

第二の議案として、首都の市民たちの生活保障で生じる当面の問題が討議された。金正恩委員長は、首都の市民の生

活保障において早急に解決すべき問題を具体的に指摘し、住宅建設をはじめとする人民生活保障と関連した国家的な対策を強く立てることについて強調した。会議では、平壤の市民生活で提起される問題を解決するための重要問題が討議された。

第三の議案として現行の党活動で提起される一連の規約上の問題を一部修正し、党規約改正案に反映することに対する意見を審議、批准した。

第四の議案として組織問題を討議し、党中央委員会政治局委員候補を選出した。金栄敏を党中央委員会政治局委員候補に選出した。

党中央委員会委員、委員候補を召還及び選出した。高吉先、キム・ジョンナム、宋英健を党中央委員会委員から委員に、リ・ジェナム、クォン・テヨン、クォン・ヨンジンに党中央委員会委員として選出した。

リム・ヨン Chol、カン・イルソプ、シン・インヨン、リ・キョン Chol、キム・ジュサム、キム・チョン Chol、チェ・グァンジュン、ヤン・ミョン Chol、キム・ヨン Chol、パク・マンホを党中央委員会委員候補に選出した。

南北間の通信線を遮断

2020年6月9日発『朝鮮中央通信』によれば、北朝鮮は南北間の通信線を同日12時（正午）に完全に遮断する旨の報道を発表した。停止される連絡線は、南北合

同連絡事務所を通じた南北当局間の通信連絡線、南北軍部間の東海線および西海線の通信連絡線、南北通信試験連絡線、朝鮮労働党中央委員会本部庁舎と青瓦台間のホットラインである。

羅先市に養苗場とウサギ牧場を新たに建設

2020年6月9日付『朝鮮新報』は、羅先市先鋒地区に養苗場とウサギ農場が新たに建設されたことを伝えている。

平安南道平城市に平城体育館建設

2020年6月9日付『朝鮮中央通信』によれば、平安南道平城市に延床面積が1万平方メートルを超え、1,200席の座席を備え、室内サッカーとバスケットボール、バレーボール、テニス、卓球をはじめとする多様な体育行事を行うことができる平城体育館が新たに建設された。

北朝鮮各地で2カ月遅れの始業式

2020年6月12日付『朝鮮新報』によれば、同日3日、北朝鮮の各地で小学校、中学校（初級中学校が日本の中学校に、高級中学校が日本の高校に相当）の始業式が行われていた。例年は4月1日または2日に始業式が行われるが、今年は新型コロナウイルス感染症のために遅れて始まったものである。各学校では、児童、生徒

にマスクを着用させ、校門では体温測定を行い、手の消毒を行うなど、感染防止対策をとった上での授業再開となった。

黄海北道養苗場が完成

2020年6月13日発『朝鮮中央通信』によれば、敷地面積が数十ヘクタールにのぼる黄海北道養苗場が完成し、同日12日に竣工式が開催された。

平安南道養苗場と安州市種魚事業所アユ養魚基地が完成

2020年6月15日発『朝鮮中央通信』によれば、平安南道平城市に平安南道養苗場が、同道安州市に安州市種魚事業所アユ養魚基地がそれぞれ建設された。同日14日に各々竣工式が開催された。

南北共同連絡事務所爆破される

2020年6月16日発『朝鮮中央通信』によれば、同日14時50分に南北共同連絡事務所が爆破され、完全に破壊された。この建物は北朝鮮が土地を、韓国政府が建設資金を出して建設した建物で、北朝鮮の主権が行使される開城工業団地内に位置する。

ERINA 調査研究部主任研究員
三村光弘